

平成21年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金成果報告(与板地域)

1 申請団体名	愛ラブ与板上映実行委員会
2 事業名	「なつかしの日本映画」愛コミュニティ映画館事業
3 事業の実施期間	着手 平成21年 6月28日
	完了 平成21年10月15日
4 事業の主な実施場所	与板町中町 高島座、兼続愛好会イベント場
5 補助金額	412,000円
6 事業の内容	<p>【目的】 まちなかにある昭和のレトロな映画館「高島座」で、昔なつかしい映画を上映し、住民同士のふれあいの生まれる「地域の交流館」として活用を図ることにより、地域の賑わいと活力を創出する。</p> <p>【内容】 「なつかしの日本映画」鑑賞会 10月11日(日)、12日(月)の2日間にわたり、文化庁優秀映画鑑賞事業を実施。2日間で延べ435名の入場者があった。1本平均では、54名であった。「なつかしの名優に会いたい」シリーズとして、田宮二郎出演「白い巨塔」、中村錦之介出演「反逆児」など、4本を連続上映。普段映画館とは疎遠の高齢者層からは、「映画館復活は嬉しかった」「昔を思い出し感動した」と喜ばれた。</p> <p>「いにしえの与板」写真展 同時開催のかたちで、与板町のあゆみ、昔の町並み、学び舎、お祭りなど貴重な写真を一堂に展示。写真を介して会話がはずみ、地域の変遷について、語り合うひとときを設定した。</p> <p>高島座の映写室公開 めったに覗くことのない映写室の内部、大型で貴重な映写機を希望者には公開した。</p>
7 事業の実施による効果	昨年引き続き、2度目の上映会となり、楽しみに待っていた人も多くあった。まちの中心通りに映画館があることから、いつときの賑わいと活力が生まれ喜ばれた。

	<p>歩いて立ち寄れる映画館は、特に高齢者層に好評で、日頃手歩くことの少ない人たちが連れだって参加する姿が見られた。会話が飛び交い、互いの情報交換の場となった。</p> <p>大型の古い映写機も上映する映写技師もまちの人材であり貴重な資源であることを再確認できた。</p>
8 今後の課題	<p>フィルムは文化庁の映画リストから選べるが、必ずしも第1希望のプログラムと実施希望日に当たるとは限らず、決定通知が届くまで準備のめどが立たない点が不便。</p> <p>写真展は上映会と同時開催だったため、入場者が予想より少なかった。PR不足もあったので、次回は一考が必要。</p> <p>高島座のオーナー、映写機を扱う技師が高齢で、今後の継続の見通しは立っていないのが現状である。</p>
9 その他	